

明石市労連ニュース

第 328号

02年 1月 24日

発行 明石市
労働組合連合会

明日の出来事
見えないから



自治労共済

本日、ヤマ場

地域手当も焦点

明日1Hスト配置

明日の一時間ストライキを背景に、健福予算要求闘争は、本日最終の山場を迎える。

健福予算要求闘争の重点

課題は、①業務実態に基づいた適正な新年度の職員配置の確立、②フリー保育士の増員を始めとする保育職の改善、③臨時職員等の

雇用・労働条件の改善等である。

今年度末で定年退職する

職員数に見合う新規採用は確認できている。また、事業の閉鎖や指定管理者制度

の導入に伴う再配置可能人員を考慮し、恒常的時間外勤務を強いられているなど

業務実態の厳しい職場への重点的な人員配置が必要である。

昨年十一月に当局から要請のあった、地域手当の支給率削減をはじめとする

「給与のさらなる適正化について」の取り扱いも焦点となる。

決起集会を開催

市労連は二十日午後一時三十分から、勤労福祉会館において賃金確定・健福予算要求闘争決起集会を開催し組合員一〇三人が参加した。

冒頭、宮本議長が、「東日本大震災や福島原発事故な

ど大変な事件に加え、大阪市長戦で橋下市長が当選する等、公務員にとってより厳しい状況が生まれているが、厳しい時こそ団結してがんばろう」と挨拶した。

来賓の挨拶で坪田県本部副委員長と永井市議会議員

賃金確定・健福予算要求闘争

本日超勤拒否

本日 PM6:15より
(市職労)

拡大中央委員会

場所 103ABC会議室



食事は拡大中央委員会の中断時に
用意しています

地域手当の支給率削減については、当局が「支給率を現行水準で据え置くことは、到底、市民理解が得られない」との姿勢を変えておらず、現行支給率の維持は極めて厳しい状況であるが、他の当局からの要請事項と、昨年の賃金確定闘争で継続協議となっている現給保障制度の取り扱い等を含め、職員が生活に不安を抱くことなく、将来に展望

を持つて業務に専念できる環境整備を図る観点から、①地域手当の支給率削減幅の圧縮と見直し後の支給率の将来的な維持、②現給保障制度の存続、③国家公務員の給与削減の影響の遮断、④特殊勤務手当の見直しについては丁寧な労使協議を行うことなど、中長期的に安定した賃金水準の確保と、制度の維持についての労使確認を当局に迫る。

から「国家公務員給与削減法案や泉市長の賃金合理化提案があるが組合に結集し前進しよう」と力強い挨拶を受けた。

今回の決起集会は健福予算闘争と越年となった賃金確定闘争も併せたものとな

っているため、大岡事務局長より、賃金確定で当局要請のあった給与のさらなる

適正化にかかる協議の交渉経過報告があった。その後、健福予算要求闘争について市職、水道、病院より各単組報告があり、職場報告として藤原市職労執行委員から厳しい保育所職場の報告があった。

最後に、吉田副議長の音頭で「団結ガンパロウ」を行い集会を閉会した。

▲ 賃金確定・健福予算要求闘争決起集会
＝1月20日・勤労福祉会館

